

沿岸さば漁況予報（速報）

～ 2017 年の相模湾～東京湾のマサバ漁況について ～

■ 2017 年漁期の見込み

（1）来遊量と漁獲量

前年を上回り、平年並み

（2）魚体

尾叉長 29～32cm（体重 280～390g）が主体となる



■ 予測の根拠

（1）来遊量と漁獲量

今回の速報では、① 本年 5 月の伊豆半島東岸定置網のマサバ漁獲量（平年を下回りました）と ② 本年 6 月の伊豆大島周辺の塩分（平年並みでした）のデータを用いて、さば釣り漁船 1 日 1 隻あたりの漁獲量を推定したところ、前年を上回り*、平年*並みと予測されました（8 月には東京湾の水温のデータを加えて予測精度を高めた「確定報」を発行する予定です）。なお、今年は夏以降に黒潮が南側に大きく蛇行する可能性があり、黒潮流路や本県沿岸域の水温を注視する必要があります。

*前年比 20%以上増の場合は「上回る」、前年比±20%の範囲内の場合は「前年並み」、20%以上減の場合は「下回る」と表記し、「平年」は過去 17 年間（2000～2016 年）の平均値を示しています。

（2）魚体

3～6 月に伊豆諸島周辺で産卵を行ったマサバの一部は相模湾～東京湾に来遊し、5 月以降に本県沿岸の定置網や一本釣り等で漁獲されます。1～4 月に県漁業調査指導船「江の島丸」が伊豆諸島周辺で行った調査によると、尾叉長 29～32cm（体重 280～390g）が主体であったことから、今シーズンはこのサイズのマサバが多く来遊する見込みです。

神奈川県水産技術センター

〒238-0234 神奈川県三浦市三崎町城ヶ島養老子

電話 046-882-2313 ファックス 046-881-7903

公式ウェブサイト <http://www.pref.kanagawa.jp/div/1730/>